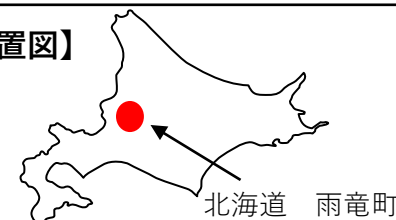


専属の就農コーディネーターの配置による安心して新規就農できる環境整備

- 高齢化と担い手不足による農家戸数の減少に伴う、個々の経営面積拡大の常態化
- 令和4年度から8年度までの5年間で「新規就農者育成プロジェクト」とし、担い手確保の重点期間として位置づけ、独自のサポート体制を構築
- うりゅう米を中心とした水稻作付と特産品である「暑寒メロン」の担い手確保への取組を推進

【位置図】



北海道 雨竜町

取組前

- 農協（営農・金融）・普及センター・土地改良区・農業委員会・町の役割分担が不明確
- 研修生を受け入れるシステム（研修受入農家・研修スケジュール等）が未構築
- 新規就農フェアなどの就農相談会への参加実績なし
- 離農予定者と新規参入者とのスムーズな経営継承への課題
- 専属の就農コーディネーターが不在

取組内容

- R4年度は、就農コーディネーターを1名配置し、「雨竜町農業地域担い手育成センター」として、4回新規就農フェアに出展
- R5年度は、就農コーディネーターを1名配置し、3回新規就農フェアに出展
- R6年度は、これまでの活動の成果により2名が2年間の研修をスタート

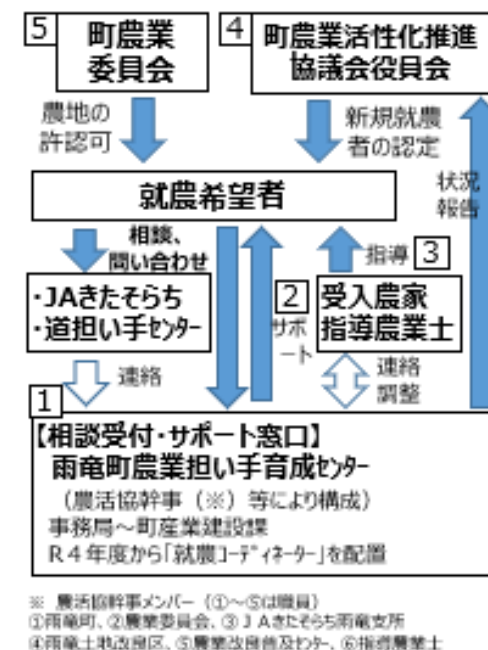


取組後(成果)

- 関係機関の役割の明確化
 - 短期・長期研修受入プログラムの構築
 - 新規就農サイトの作成による受入体制の強化
- 新規就農者数の推移
過去3年平均(R1～R3) 1.7人
→R5: 2人, R6: 3人, R7: 2人
R8新規就農予定者2人



【サポート体制】



新規就農者や研修生の声

- 研修前から研修後の農地の確約があることで安心して研修できた
- 制度に乗る前に短期研修を何度も体験したことで判断の材料となった
- 就農後も就農コーディネーターに随時相談できる体制が大きい

サポート体制構築事業 活用年度：令和4～5年度

【問合せ先】 北海道雨竜町農業地域担い手育成センター
TEL：0125-77-2213
E-mail：nourin@town.uryu.hokkaido.jp
HP：https://www.town.uryu.hokkaido.jp